

No.153

令和4年11月1日発行



いわみ

# 議会だより

## 9月定例会

- 2 主な議案の概要と質疑
- 3 3年度各会計の決算を認定
- 7 議会活動の在り方検討特別委員会を設置
- 8 4議員が町政を質(ただ)す
- 12 実りの秋、収穫の秋 (岩美南小学校・農業体験)

とれたお米でカレーライス  
食べたいなあ～ (岩美南小学校)



# オミクロン対応ワクチンの接種開始

## 乳幼児、小中学生、高齢者などの インフルエンザ自己負担額を無料に



コロナ対応のため設置された発熱者待機所とその内部（すこやかセンター前付近）

9月定例会を、9月13日から22日まで、10日間の会期で開きました。  
一般会計補正予算など、追加8議案を含む18議案と、3年度決算議案10議案を、原案通り可決・認定・同意しました。  
また、議会活動の在り方検討特別委員会が設置されました。

### 主な議案の概要・質疑

#### 一般会計補正予算

1億564万円を増額して、予算総額を68億450万円とした。

#### 歳出の主なもの

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費  
4298万円増額

新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンを、2回目接種を完了したすべての町民を対象に接種する。

インフルエンザ予防接種特別対策事業費  
595万円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が予測されるため、乳幼児、小中学生及び高齢者などのインフルエンザ予防接種の自己負担額を無料とし、ワクチン接種を促進する。

畜産経営緊急救済事業費  
400万円

新型コロナウイルス感染症の影響や、飼料代の高騰により経営が危機的な状況にある畜産農家に、県の支援制度に上乘して支援する。

生活困窮世帯等光熱費助成金  
207万円

最近の原油高・物価高騰による生活を支援するため、特に支援が必要な世帯に電気代上昇分として光熱費の助成を行う。

JR利用促進野外活動支援事業費  
94万円増額

町内小中学校のJRを利用した野外活動に対する助成制度に、岩美高等学校の野外活動も対象にするとともに、小学校も実施回数が増加が予定されているため増額する。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児を行う職員の仕事と家庭の両立を一層容易にすることを目的として、育児休業の取得回数制限の緩和、非常勤職員の育児休業取得の柔軟化など、国に準じた措置を講ずるため、この条例の一部を改正する。

**問** 育児休業の取得を保障できる体制か。

**答** 育児休業の計画書の申請が出た場合は、育児休業を許可している。  
また、その職場には、会計年度任用職員などを配置して対応する。

**岩美町消防団条例の一部改正**

消防団員の定数を機動的に活動できるように見直すとともに、消防団員の年額報酬を増額するなど団員の処遇改善を行う。

**問** なぜ現在の定数を半分に以下にするのか。

**答** 消防団の現状は、欠員などが増えてきていることと新たな団員の確保が困難になっている。

また、消防体制を機動性がある積載車を中心とした2部体制で行いたいということがある。  
2部体制とするため239名となる。

**問** 5年度の年額報酬は3月に支払うのか。

**答** 施行日が5年4月1日なので、来年度の団員から適用して、来年度の団員分の年額報酬を3月に支給する。

中途退団の場合は、月割り支給で計算して支払う。

**公共下水道大谷浄化センター他建設工事委託に関する基本協定の締結**

大谷浄化センターの受変電設備や監視制御設備などの電気設備及び浦富浄化センターのスクリーニングユニット、紫外線消毒装置などの機械設備を更新しようとするもの。

4年9月6日付で日本下水道事業団と仮協定を締結したので、議会の議決後、本協定を締結する。

**問** 今までも一括発注していた、今後もそうか。

また、一括発注したときに町は、大谷浄化センターと浦富浄化センターの監理を十分に把握できるのか。

**答** 今回は、更新時期が重なったため一緒に委託した。

また、事業団は十分な技術を持っており、監理は心配ない。

# 3年度各会計の決算を認定

**会計別決算額** (万円未満切捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	78億9874万円	77億2592万円	1億7282万円
住宅新築資金等貸付特別会計	89万円	89万円	0円
代替バス運送事業特別会計	4787万円	4787万円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億3812万円	1億3755万円	57万円
国民健康保険特別会計	14億5391万円	14億2619万円	2772万円
集落排水処理事業特別会計	1億2657万円	1億2657万円	0円
公共下水道事業特別会計	5億3256万円	5億3256万円	0円
介護保険特別会計	16億5849万円	15億7962万円	7887万円
水道事業会計	2億3115万円	2億3104万円	11万円
病院事業会計	20億9109万円	20億6762万円	2347万円

注：水道事業会計と病院事業会計は、損益計算書（税抜き）による。

**決算審査の流れ**



**本会議での主な質疑**

**一般会計決算**

**〔歳出〕**

**ふるさと納税推進費**

**問** 寄附をいただいた方の中で、返礼品が要らないと辞退するという方が何人で、その金額はいくらか。

また、経費はどうか。

**答** 5人で、26万3000円だった。  
寄附金の用途は、希望選択肢を設けている。  
経費は、予算を一般財源で別に設け、そこから支出をしている。

**問** 寄附の目標額は。

**答** 目標額は設定していない。

**代替バス運送事業特別会計決算**

**問** 田後陸上線は、前年度と1年間のトータルで比較をすると微増で、高齢者と学生以外のその他の方の利用において、感染症の拡大と減少に比例した利用者の増減があり、観光客の利用に影響があるものと推測したとあった。

**答** 観光客の利用が何人とか、観光客が実際に何人利用したという数字はもちあわせていない。

# 予算の使われ方をチェック

令和3年度の各会計の決算を審査し、5年度予算などに反映させるため、議長と議会選出の監査委員を除く議員10名で構成する決算審査特別委員会(川口耕司委員長)を設置し、総務教育、産業福祉の両分科会を設けて審査を行いました。

議長はどの場面でも参加できるので、審査に参加し意見を述べました。その結果、いずれの決算も認定すべきものと決定しました。決算審査報告書(H.P参照)のうち主な質疑・意見を掲載します。

## 一般会計

### 〔歳入〕

**問** 町税などの徴収に新型コロナウイルス感染症の影響はどうか。

**答** 収納調整会議などの連携や悪質滞納者に対する徴収努力をどのように行ったのか。

**答** コロナ禍で生活が急変された方が役場のどの窓口で相談されても庁舎内で共有し、納付が困難な状況に応じて徴収猶予や福祉の資金貸付につなぐなどの対応を行ってきた。

また、毎月1回を基本とする収納調整会議で関係課が情報共有して対策を検討するほか、必要に応じて県税事務所や東部地域の市町とも連携して滞納整理に取り組んできた。

**意見** 町税、住宅使用料などの滞納金額が1億円を超える額に及んでおり、収納調整会議を密にし、県との連携も強化しながら徴収に努めるべき。

**問** ふるさと納税が全国的には増えているのに、本町への寄附額が減少し

ている要因はなにか。

**答** 主要な返礼品の一つである松葉がにが、価格高騰により調達困難となり、やむを得ず寄附の受付を一部停止したことが減少の要因となった。

### 〔歳出〕

#### ふるさと納税推進費

**問** 自らが関係するまちを応援するため、見返りを求めずに寄附をいただけることが理想だが、他の自治体と比較した場合に理想どおりにならないのが現実だ。今後どのように取り組むのか。

**答** 趣旨は、自分が生まれ育った故郷や応援したいまちに対して寄附をするものである。最初の3年間は返礼品なしで運用したが、その後、各自治体が返礼品を提供しながら寄附を求める取り組みに変わったため、本町も同様の取り組みとした。

特産品を返礼品にすることが町内産業の振興にもつながるので、制度をうまく活用し、より多くの寄附をいただける努力をした。

#### コンビニ交付サービス事務費

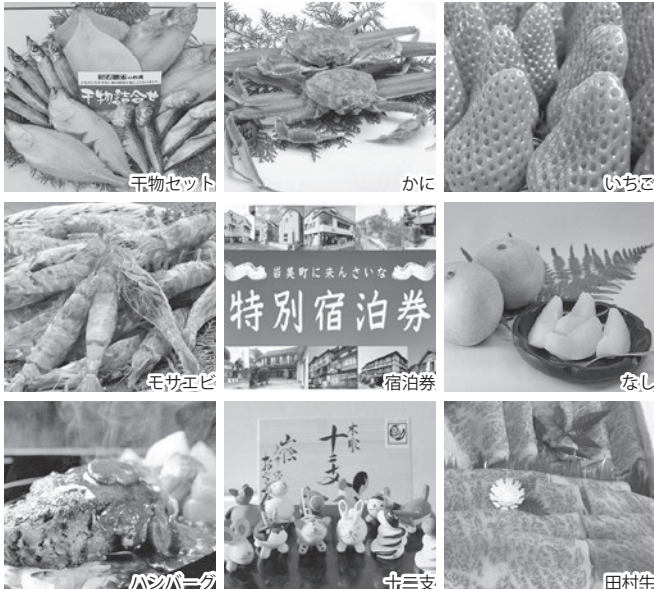
**問** 利用状況はどうか。

**答** 住民票、印鑑登録証明書、住民票記載事項証明書、所得課税証明書の発行が可能で、3年度は595通、窓口交付を含む

めた発行割合は8.4%であった。

**問** コンビニでの証明書などの発行に必要なマイナンバーカードの普及率と今後の取り組みはどうか。

**答** 普及率は4年8月末現在で49.5%であり、町内事業所、自治会や老人クラブなどの出張申請受付や休日窓口の開設日を増やすなど、引き続き普及率の向上に努めたい。



本町のふるさと納税返礼品

#### 生活困窮者自立支援事業

**問** 生活困窮者からの相談件数と収納調整会議との連携はどうか。

**答** 3年度の相談は30件あり、主には社会福祉協議会の緊急小口資金などの特例貸付利用者である。毎月の収納調整会議の中で、何らかの支援が必要と思われる方は、福祉的支援も視野に入れた対応を行っている。

**意見** どの分野の職員も町民との関わりの中で生活状況を把握し、公的支援が必要と思われるケースは、関係課が連携し速やかに対応するべき。

#### 集落内除雪活動支援事業費補助金

**問** 補助制度を活用していない山間部の集落があるが、各集落などへの制度周知は図られているのか。

**答** 元年度から始めた事業であるが、各集落には毎年、降雪前に文書に

よるお知らせをして申請漏れがないよう対応している。

### 自主防災組織育成事業

**問** 消防団員の定数が削減される中、自主防災組織の防災力をどのように高めるのか。

**答** 年度内の自主防災組織化100%を目指して、未組織地域に結成を促している。

また、立ち上がった組織の防災力が高まるよう施策を検討したい。

### 中学校生徒通学費補助金及び高等学校生徒通学費補助金

**問** 2年度と比較して件数、補助金額が減っている理由はどうか。

**答** 中学校、高等学校の生徒数の減少とともに、自家用車での送迎も減少の要因と考えられる。

**問** 周知の方法はどうか。

**答** 広報などで周知して

いるほか、高校1年生に対しては新入生通学費補助金制度があるため、中学校の卒業時に学校を通じて個別に案内を出しており、概ね周知されていると考えている。

保護者の負担軽減と公共交通の利用促進のため、これからも引き続き支援していきたい。

### 代替バス運送事業特別会計

**問** 町営バス運行の改革方針と運行業務委託料はどうか。

**答** 公共交通計画を基に、町の実情に合わせた必要

な施策を検討したい。また、運行業務委託料は、今後も適正な価格となるよう算定する。

**意見** 利用者の大幅な減少を捉え、計画に沿った取り組みを早急に行うべき。

### 国民健康保険特別会計

**問** 特定健診について、コロナ禍での受診率向上にどのように取り組むのか。

**答** 集団健診における受診人数の制限や受診控えにより受診率が上がり

にくい状況ではあるが、被保険者が受診機会を逸しないように、岩美病院をはじめ町内外の医療機関での個別健診を積極的に勧奨したい。

### 病院事業会計

**問** 医師確保と医師のスキルアップはどうか。

**答** 県派遣医師の確保に向けたお願いは引き続き行うとともに、併せて常勤医師の確保にも取り組んでいる。

近年の医師の傾向は、専門医としてのスキルアップや専門医以外に自身のキャリアアップにつながる医療機関での勤務を望む医師が多く、対応する症例が限られている当院の勤務で医師の希望が叶うかといえれば現実的には困難な実態がある。

**問** 一人診療科における複数医師確保はどうか。

**答** 一人診療科の解消のために大学、県や周辺医療機関に出向き交渉するものの、どこも余裕がな



町民のいのちと健康を守る岩美病院

く二人目の確保は困難な状況である。

**問** 訪問診療に関わる医師の負担感はどうか。

**答** 現在のコロナ対応等により負担増となっている状況であるが、町民との顔の見える関係を大切にしている当院の医師にとってモチベーション維持にもなっており、今後岩美病院の特徴として継続していきたい。

**問** 現在の病院運営における課題と今後の取り組みはどうか。

**答** まずは町民の皆さんのいのちと健康を守るため医師、看護師、薬剤師等医療従事者の体制の充実が急務となっている。体制を充実させた上で経営の健全化を目指しつつ、医療圏から求められるニーズにも対応できるように取り組みを進めていく。

## 9月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認、同意した議案】

議 案		議 案	
条例改正外	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	3年度決算の認定	一般会計
	岩美町消防団条例の一部改正		住宅新築資金等貸付特別会計
	東浜レストランの指定管理者の指定		代替バス運送事業特別会計
	岩美町公共下水道大谷浄化センター他建設工事委託に関する基本協定の締結		後期高齢者医療特別会計
補正予算	一般会計補正予算（第4、5号）		国民健康保険特別会計
	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		集落排水処理事業特別会計
	公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）		公共下水道事業特別会計
	介護保険特別会計補正予算（第2号）		介護保険特別会計
	水道事業会計補正予算（第2号）		病院事業会計
議員発議	総務教育、産業福祉常任委員会の行政事務調査		人事
	議会活動の在り方検討特別委員会の設置	教育委員会教育長の任命同意	
	総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査	人権擁護委員候補者の推薦同意（3議案）	

【賛否が分かれた議案】

提出者	議 案	審議結果	賛否の状況
町長	3年度水道事業会計決算の認定	可決	反対：田中克美

## 請 願 ・ 陳 情 審 査 結 果

件 名	結 果	賛否の状況	不採択の理由
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書の提出を求める陳情 提出者：鳥取県教職員組合 東部支部長 常藤充博 外1名	趣旨採択	全員一致	—

### 討 論

水道事業会計決算の認定

（可決）

反対（田中克美議員）

飲料水への消費税課税は、生計費非課税の原則に反する。

7月26日臨時議会

一般会計補正予算（第3号）

627万円増額

太陽光発電設備などの導入を促進する補助金と子育て世帯への特別給付金の対象者の見込み増に対応するため、522万円を増額する。

また、地域経済の活性化を図るため、修学旅行などで本町を訪れる県内の小中学生などに町内事業所で使用できるクーポン券を配布する経費を105万円追加する。

9月1日臨時議会

代替バスの設置及び管理に関する条例の一部改正

町道陸上中央線西脇海

岸の全面通行止めに伴い、町営バス田後陸上線の路線の変更と運賃の一部を改定するため、この条例の一部を改正する。

### 人 事

（敬称略）

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

任期は4年10月1日から3年間です。

山崎加代子（浦富）

教育委員会教育長の選任に同意しました。任期は4年10月14日から3年間です。

大西 泰博（陸上）

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

任期は、委嘱予定日の5年1月1日から3年間です。

吉村真知子（延興寺）

平家 陽子（浦富）

吉田 浩司（浦富）

# 9月議会 議員活動の在り方検討 特別委員会を設置

9月議会は最終日、議長を除く全議員で構成する「議会活動の在り方検討特別委員会」を設置して、議会改革に取り組むことを決めました。

第一回特別委員会で、委員長に田中克美議員、副委員長に宮本純一議員を選出しました。

## 議会運営委員会に設置を提案 全員協議会で設置を確認

9月6日開催の議会運営委員会で委員長から、次の問題提起がありました。

前期の議会活動の在り方検討特別委員会の調査報告は、議会公開と議員力向上の課題については、未着手の課題を残しながらも一定の成果に突ったと評価することともに、住民自治の担い手である町民との協同の前進と議会本来の役割のいっそうの発揮という、時代が求めている課題である住民参加と行政監視・政策提起は、次期議会において挑戦を続けることが必要だと考えたと記述した。



「質問・質疑の力量向上に努力しながら、決定過程への住民参加、行政監視・政策提起について、議会としてできる活動スタイルを追求することが必要だと思う。」  
そのために、特別委員会を設置してはどうか。  
提案を受けた議会運営委員会は、設置することを全員協議会にはかることを確認。  
9月議会中に開催した全員協議会は、全員一致で設置を確認し、本会議で議決しました。  
(前期の議会活動の在り方検討特別委員会の調査報告は議会ホームページでご覧ください。)

# 一般質問 4議員が<sup>ただ</sup>町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

### 【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

### 9月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）
宮本 純一	8	1 地域公共交通について 2 岩美高校への支援について
森田 洋子	9	1 災害時の要支援者の支援の強化を 2 マイナンバーカードの利便性向上を
升井 祐子	10	1 大規模太陽光発電の対策はできているか 2 コロナ禍のごみの捨て方と、指定ゴミ袋のサイズの多様化を
田中 克美	11	1 事業系一般廃棄物の町収集の復活について 2 地域における戦争の記憶の継承と戦争遺跡について 3 個人情報保護条例の改廃について

議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。会議録は、12月ごろから議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。各議員の一般質問の動画がページ左下のQRコードからご覧いただけます。

### 公共交通改善に取り組み

宮本 純一 議員

### 地域公共交通計画に沿って改善を進める

長戸町長



宮本純一議員

**宮本** 公共交通などの維持に年間7000万円を負担している。

今後負担額の増加が見込まれるが、軽減となる取り組みは何か。

**町長** 利用促進による料金収入の増と支出経費の削減など、具体的な取り組みを地域公共交通計画に沿って進め、改善を図っていききたい。

**宮本** 地域公共交通計画では7年度までのスケジュールが示されている。

進捗状況はどうか。

**町長** バス運行の効率を



身近で大事な公共交通(岩美病院前バス停)

バス内容、車両の検討などを行っている。

**宮本** 事業計画にバス運賃均一制に取り組みようだが、導入の目的は何か。

高める事業として、町営バスの運行時刻、便数の見直しとデマンド交通への転換、町営バスのサー

**町長** 交通計画の策定の際、各地区の意見交換会で、バスの運賃が高いとのご意見をいただき検討を始めた。

**宮本** バスの小型化や乗客のない時間帯はオンデマンド交通を導入するなど、将来を見据え踏み込んだ公共交通改善を行うべきだ。

**町長** 現状のままでは地域公共交通を維持することは困難だ。様々な施策を総合的に

行って改善を進めたい。  
**宮本** JR鳥取・浜坂間の路線の存続と維持に向けた取り組みとは。

**町長** 公共交通の利用促進にむけて、職員も含め、町民挙げての運動となるよう取り組んでいく。

### 岩美高校存続のため一層の支援を

宮本 純一 議員

### 連携を図り必要な支援をしていく

長戸町長

**宮本** 県立岩美高校が存在していることをどのように受け止めているか。

魅力化コーディネーター選任の状況はどうか。

**大西教育長** 町内の中学生にとっては身近な進学先の一つとなっている。

もう一つ、高校生が学習やスポーツ、文化的活動に取り組む姿は、地域の元気や活性化にも結び付くものと感じている。

**教育長** 配置に向け募集を行ってきたが現段階ではできていない。配置にむけ鋭意努力したい。

**宮本** 魅力化コーディネーターの役割とは何か。

**宮本** 岩美高校の魅力化、特色化に取り組むための

**教育長** イワツツミッシヨンに関わり地域と学校をしっかりとつなぎ、中

学生から選ばれる学校となることを期待している。

**宮本** 目的が果たされるために、コーディネーターをどのように支えていくのか。

**教育長** 週に1回の連絡会や、月に1回程度の学校との協議を行うなど、働きやすい環境づくりに努めていきたい。

**宮本** 岩美高校の存続は、本町の活性化にもつながる重要な問題だ。一層の支援が必要と考えるが町長の決意を伺う。

**町長** これまで、公営塾の設置、通学費助成などを行ってきた。本町の取り組みを県教委に伝え、岩美高校とも連携を図りながら必要な支援をしていく。



(このQRコードから動画がご覧いただけます。)



# 災害時の要支援者の支援体制を急げ

森田 洋子議員

## 細かい情報を地域で共通認識に 長戸町長



森田洋子議員

る支援者と、事前の避難先を決めているのか。

**町長** 支援者を特定しているところと、集落全体

で支援のところがあ  
避難場所は決めている

**森田** 地域全体のサポートの構築ができればと考える。

町の取り組みはどうか。

**町長** プライバシーの問題もあるが、細かい情報を地域で共有、共通認識で作成できるよう進めている。

**森田** 今後、関係機関が連携して対応できる体制づくりが重要だ。

総務課と福祉課が効率

的かつ効果的な支援を進めるべきと考えるが、取り組みはされているか。

**町長** 社会福祉協議会と行政が連携した取り組みを推進している。

**森田** 地域での支援体制の強化として、社会福祉

協議会が行っている支援マップの作成と組んで取り組み考えはないか。

が付与できる国の普及策がある。  
本町はどのような取り組みをしているのか。

**町長** 本町が進めている個別避難計画の作成、支援マップの作成をきっかけに、地域に合った共同の仕組みをつくってほしい。

そして、それをもとに避難、防災訓練を地域で行う体制を進めたい。

**町長** 総務課の専任窓口で対応している。

住民生活課でマイナンバーカードの交付申請をし、総務課へマイナンバーの申請を行えるよう連携をしている。

**森田** 岩美病院でのマイナンバーカードの活用はどうか。

## 病院でのマイナンバーカードの活用はどうか 森田 洋子議員

### 今年2月、運用開始している

小谷病院事業管理者

**森田** 3年9月1日にデジタル庁が発足し、1年になる。  
具体的な施策として、マイナンバー制度の活用とマイナンバーカードの普及促進がある。

**町長** 専任職員を配置している。  
毎月最終の日曜日に休

日窓口を開設、町内事業所、自治会、老人クラブなど、地域団体への出張申請、広報、防災無線での周知も行っている。  
交付率は、現在49・5%である。

**森田** マイナンバーカードを取得し、健康保険証などを登録すると、買い物などに使えるポイント

**病院事業管理者** 今年2月より運用開始し、受付窓口を設置しているカードリーダーにかざすことで、保険証なしで、最新の公的医療保険の資格情報が確認できる。  
限度額認定証もオンラインで限度額を確認、活用している。



(このQRコードから動画をご覧いただけます。)



個別避難計画の説明会（駅前地区）

**森田** 個別避難計画では要支援者の状況をよく知

**町長** 現在115集落中、作成済みは90集落である。未作成の集落に出向き、未作成の25集落は、年度末までに作成できるようにしたい。

**森田** 近年、線状降水帯による集中豪雨で、住民が避難しにくく、被害が拡大する傾向にある。  
要支援者の支援体制が重要であり急ぐべきだ。  
昨年の6月議会で個別避難計画の作成状況と課題を聞いた。  
その後の取組状況は。

**太陽光パネルの処分への対応はどうか** 升井 祐子議員

**条例の中に適切な処理、規制も加えたい** 長戸町長



升井祐子議員

**升井** 平成24年7月に再生可能エネルギーの固定買取制度が開始されたのを契機に、太陽光発電の普及が進んでいるが、地域によっては、土砂流出や濁水の発生、景観や自然破壊などの問題が生じている。

町内にも、大規模な太陽光発電設備が散見されるが、何か対策を取っているか。

また、住民とのトラブルが起こったことはなかったか。

**町長** 現在条例制定に向けて、内部で検討している。

**ごみ袋のサイズの多様化を** 升井 祐子議員

**ニーズを調査し、コストも含め検討する** 長戸町長

トラブルは、現在のところ承知をしていない。

**升井** 太陽光パネルには、毒性が強いものが多く含まれている。

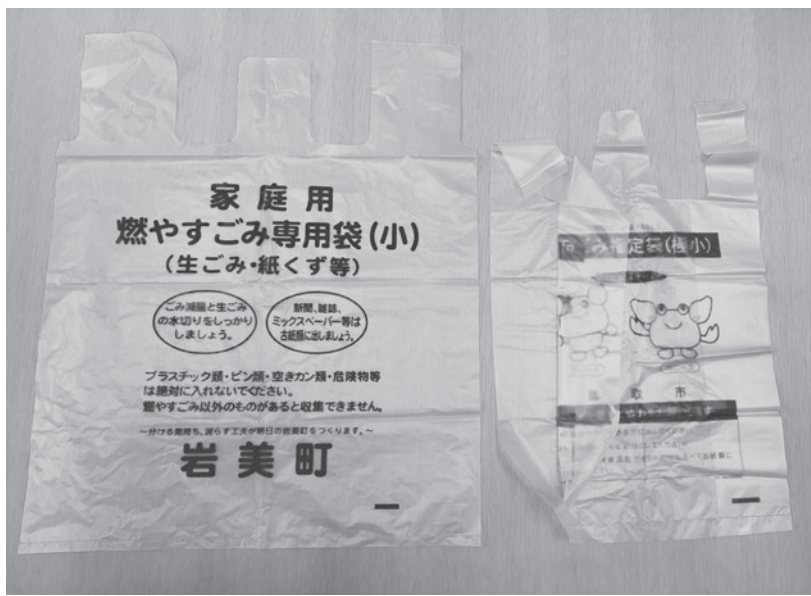
もし不法投棄されたら、土壌汚染などの公害の発生原因となる。

経済的にも成り立つ廃棄物リサイクルを行う仕組みも必要だ。

耐用年数を過ぎた膨大な量の太陽光パネルの処分が将来問題となる。

条例に、処分の対応についても盛り込んでほしい。

撤去や廃棄については、適正に処理されるよう、事業者の責任は明らかにし、規制も具体的に考えたい。



鳥取市のマチ付極小サイズのごみ袋

かかったか。

**町長** 休憩する場所を2か所に分けたり、業者も消毒、健康管理が徹底されたりしているおかげで、収集業務に支障はなかった。

導入されている。元年から3年の鳥取市の極小サイズが、大サイズの3割以上の需要があることが、可燃ごみ指定袋の売り上げから分かった。

本町でも、極小サイズのごみ袋を採用してはどうか。

**升井** 昨年、東京都台東区ごみ回収事業所では、新型コロナウイルスのクラスターが発生し、ごみ収集サイクルの維持ができていない状態になってしまった。

町は、ごみ収集業者の感染などによる、ごみ回収に支障が出たことはないか。

**町長** 改めて保健所へ伝達をお願いをし、町のほうも、ホームページや広報を使って呼びかけてみたい。

**升井** 町指定ごみ袋のサイズは大・中・小とある。週2回の可燃ごみの日までに、小の袋に入れて出すほどごみが出ないが、生ごみはためたくないという声がある。

鳥取市指定のごみ袋は、住民の方からニーズがあり、追加で極小サイズもつくられた。

袋のマチも、途中から

**升井** 付着したウイルスは3日程度生存すると言われている。

ごみ収集者の健康を守るためにも、自宅療養中のごみ出sherullの協力を呼び掛けてはどうか。

**町長** 本町ではどの程度必要とされているのか、コストの部分も含め、検討させていただきたい。



(このQRコードから動画をご覧いただけます。)

## 事業所一般ごみ収集を 従前通りに

田中 克美議員

## 関係者を交えた協議を 待ちたい

長戸町長



田中克美議員

**田中** 事業系一般廃棄物の町収集の廃止で、小規模事業者の負担が大きくなっている。

行政回収している自治体同様に、家庭ごみの収集にあわせた回収を復活すべきだ。

**町長** 商工会、観光協会、収集事業者を交えて、負担軽減できないか協議している。

**田中** 法は事業系一般廃棄物の処理手数料は、町が定める処理手数料相当までとしている。処理手数料を定めることも念頭に、検討することになる



家庭ごみの収集の様子

## 個人情報保護条例の 内容を守れ

田中 克美議員

## 内容を大きく変更しない

長戸町長

**田中** デジタル関連法制定に伴い、国は町の個人情報保護条例の改廃を求めている。

町の個人情報保護条例の内容を維持すべきだと思うがどうか。

がどうか。

**町長** 処理手数料を定める方法もあるし、袋代に含める方法もある。

現在おこなっている協議をもう少し見たい。

**町長** 法改正によって全国的な統一ルールになっても、基準は変わらないと考えている。

町条例の内容を大きく変更する考えはない。

**田中** 行政機関が持っている個人情報情報を匿名加工して公表し、民間事業者から利活用を募集し、民間事業者に提供する制度が導入されている。

法改正で、都道府県と政令市は提案募集が義務となり、市町村は任意だ。個人情報情報を匿名加工することに本人同意は不要情報提供したことの通知も不要とされた。

匿名でもほかの情報と組み合わせることで判別される可能性はある。

国も地方も利用するサービスは同じになり、個人情報全部集められるため、攻撃されるリスク

も漏えいのリスクも高くなる。

町は情報の匿名加工は義務ではない。外部提供に踏み出すべきではない。少なくとも慎重な検討を。

**町長** 実施するという考えはない。

**田中** 国と自治体のシステムを、共通化、標準化するが、義務ではない。

国はアマゾン社やグーグル社のサービスを使うようだが、保護すると保証して集めた個人情報、アメリカ企業に委ねることは許されない。

アメリカは2018年、アメリカ企業は国の情報提供要求を拒否できない法を制定した。EUも中国も情報の海外移転を規制している。

共通化、標準化の業務システムは利用するな。

**町長** 判断する情報が乏しい。情報収集を進め、判断したい。

**田中** 本人通知義務を約束した個人情報の無断提供や、共通化、標準化し

たシステム利用により、プライバシー侵害、個人情報の漏えいに、町は責任がとれるか。

**町長** 国が進める制度なので、国が責任を負うのだからと認識している。

**その他の質問**  
地域における戦争の記憶と戦争遺跡について



(このQRコードから動画がご覧いただけます。)



南小学校・農業体験

# 実りの秋、収穫の秋

毎年、岩美南小学校では農業体験として、稲刈りをしたり、サツマイモを育てたり、梨を収穫したりしています。

1・6年生は、地域の多くの方にお世話になって、稲刈りを行いました。やはり、収穫はうれしいもので、子どもたちも自然に笑顔があふれていました。

このお米は、町内の小中学校の給食で食べたり、高齢者の福祉施設で食べていただいたりしています。



きょう、いねかりをしました。かまでいねをかるのがむずかしかったです。でも、じょうずにかれました。6ねんせいのおねえさんが

やさしくおしえてくれたからです。とてもうれしかったです。かったいねは、さらさらでした。またやりたいです。  
1ねん やまもと みお

ぼくたちにとって小学校生活最後の稲刈りだったので頑張りました。1年生が稲を刈って、6年生が稲を束ねることをがんばりました。落ちていた稲も残さな

いように気を付けました。ペアの1年生と協力できてよかったです。稲刈りのようにペアで協力することがあったら頑張りたいです。  
6年 細川 侑大(ゆうだい)

6ねんせいのおにいさんやおねえさんといねかりをしました。はじめに、こうちょうせんせいのはなしをききました。つぎに、たんぼのなかにはいっていねをかまでか

りました。いねをもって、かまをギョクギョクとうごかしてかりました。むずかしかったけれど、できてうれしかったです。らいねんもがんばりました。  
1ねん やまもと あさひ

学校で稲刈りがありました。私は、ペアの1年生にいていねいに教えることを頑張りました。もちろん、稲を束ねることもがんばりました。最初は、1年生も私も上手にはできませんで

た。けれども、教えたり周りの様子を見たりして、だんだんと上手になりました。よかったなと感じました。とれたお米は、大切に食べたいです。  
6年 大久保 和佳(わか)

いねかりにいきました。1ねんせいと6ねんせいがいっしょにいきました。いねをかまできりました。6ねんせいがやりかたをおしえてくれました。おしえて

くれてうれしかったです。たくさんとれました。とれたおこめは、カレーライスにしてたべてみたいです。たのしみです。  
1ねん おかもと りゅうと

ぼくは、1年生に稲の刈り方を教えました。初めての経験でした。教えるときに不安がありました。1年生が、かまで指を切ってしまうかもしれないからです。でも、1年生が慣れて

きて、上手になってきました。無事に稲刈りができてよかったです。1年生が大きくなって6年生になったら、次の1年生に教えてほしいです。  
6年 木下 琉愛(るあ)

議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員長	議長
升井	森田	吉田	田中	柳	田中	寺垣	足立
祐子	洋子	保雄	伸吾	正敏	克美	智章	義明
						恒	

【発行責任者】

**編集後記**

実りの秋、収穫の秋、ということの秋、小学生の稲刈りの様子をお届けしました。かまを使

ただとやりがいも感じたと思ひます。皆で刈った新米で美味しいカレーライスが食べられるといいですね。そして食欲の秋。皆様食へ過ぎには注意してください。◇議会だよりは、市民の皆様に見やすく分かりやすい紙面を心がけて編集しています。是非ご一読していただきましてご意見ご感想をお聞かせください。

寺垣 智章